「通信と情報」の到達目標と教育基準

到達目標
1．アナログ，ディジタル信号の基礎の理解 2．信号の符号化技術の理解 3．通信の初歩的な知識の習得 4．インターネットの基礎的な知識の習得 5．ネットワークセキュリティの必要性の認識

学 習 ・ 教 育 目 標		対応する到達目標	学習時間
技術者として共通の素養並びに基礎能力	(A) 本学科に係わる技術的諸問題と社会との係わり、地球的視点から多面的に物事を考える能力を育成する．また技術が社会に及ぼす影響・効果に対する理解力や責任など，技術者として社会に対する責任を自覚する能力を育成する．	1-5	22.5
	(B) 工学の基礎となるべき数学及び物理に関する基礎的学力，並びに情報・ネットワークシステムの基礎を育成する．		0
	(C) コミュニケーション能力を養う教育を行なう．		0
	(D) 機械・電気・電子工学の核心的基礎能力を修得させる．		0
基礎的専門工学能力の育成	(E)　本学科における基礎知識の修得をもとに，機械関係，電気関係あるいは電子関係の３コースのいずれかにおいて，基礎的な専門知識を身につけさせる．		0
	(F) 電子制御システム工学実験を系統的に配置し，技術の「体験」を通したより深い理解，自主性，協調性，レポート作成能力などを養う．		0
	(G) セミナー，卒業研究を通して，与えられた環境の下での自主的な研究推進能力，課題解決能力，技術的な討論および発表能力を養う．		0